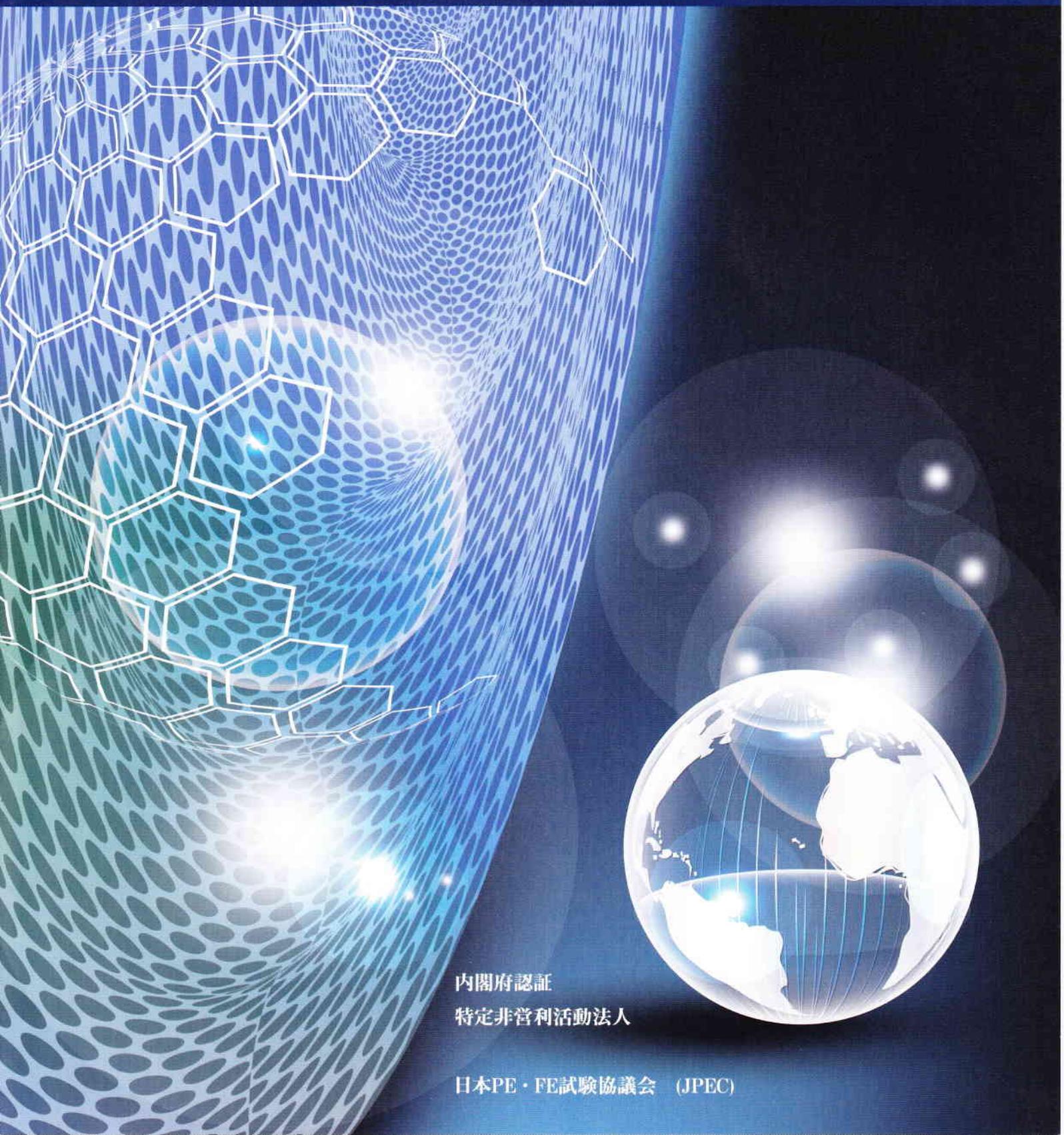


全米エンジニア試験協議会 (NCEES)

FE試験 PE試験



内閣府認証
特定非営利活動法人

日本PE・FE試験協議会 (JPEC)



プロフェッショナルの

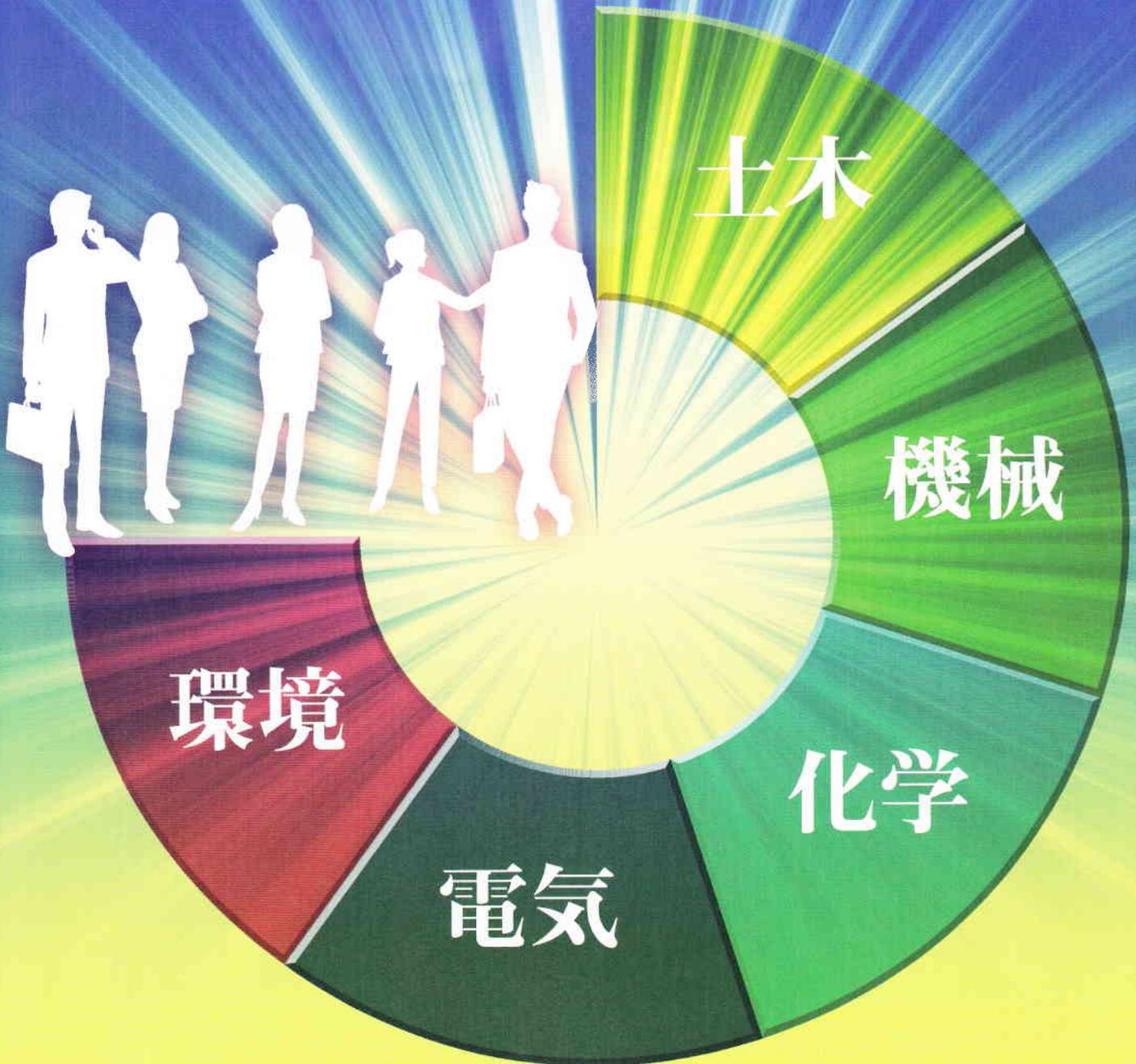
誇りを持って

グローバルな社会貢献を

しよう！



ライセンスの活躍分野



米国のエンジニア制度について

米国では、公共の安全や国民の健康に関わる技術的業務にはプロフェッショナルエンジニア (PE) ライセンスが要求されます。たとえば、身近な例で橋、自動車、発電所等の設計図に PE のサインが無いと、法的に無効とされるのです。

PE ライセンスを取得するには、全米エンジニア試験協議会 (NCEES) の実施する FE (Fundamentals of Engineering Exam) 試験及び PE (Principles and Practice of Engineering Exam) 試験に合格し、正式にエンジニアとして登録する必要があります。これらの試験の受験、合格後の登録、および登録の継続については、学業、経験等について一定の要件を満たし、各州毎の要件を満たす必要があります。このように、米国ではエンジニアリングに関わる技術者に合理的な制限を設けることにより、公共の安全や国民の健康を守っているのです。



米国 PE スタンプの例
(オレゴン州)

FE試験申し込みからPE登録までの流れ

PEの一次試験であるFE試験をまず受験、合格し、そして二次試験であるPE試験を受験（それぞれの受験資格については下記参照）、合格したのち、米国のいずれかの州にPEとして登録してはじめてPEと名乗ることができます。PE登録の要件は州毎に多少差があり、日本在住者が登録するのが難しい州もある半面、日本のエンジニアの登録を歓迎している州もあります。JPECは、日本在住のエンジニアが米国に登録しやすくなるよう全米各州の試験協議会とコンタクトを始めており、すでに協力表明している州についての情報等をJPECホームページで公開しています。

STEP 1 >>> 受験資格

日本在住で、日本もしくは米国の4年制工学・理工学系大学の卒業生、または卒業見込みの4年生であること。学士、修士または博士の取得学位にEngineering（例：Bachelor of Engineering、Bachelor of Science in Engineering）の名称が含まれていること。例外として、日本在住であれば、日本もしくは米国以外の工学・理工学系大学の卒業生でも審査の上受験を許可する場合があります。

PE試験の場合、工学分野での実務経験が4年以上必要となります。



STEP 2 >>> FE試験

工学基礎学力の知識を問う試験で、工学系大学で履修する内容に関するものがほとんどで、PEになるための一次試験です。JPECへの受験申し込みおよびJPECによる受験資格の確認の後に、NCEESのホームページでMy NCEES画面から登録、受験料の支払い、受験日と会場の予約を行います。FE試験は2014年度からコンピューター上で回答する形式になり、年4回実施されています。合計6時間で110問を解く試験が行われ、合格者にはNCEESより合格証明書が発行されます。試験の詳細については随時変更があります。最新情報はJPECホームページを確認願います。

試験内容： 工学一般の基礎知識を問う内容で、各分野共通の問題（数学、統計学、工学経済等）と各分野の専門性に応じた問題（化学、電気、力学、材料力学、熱力学、環境等）を組み合わせたもの。

試験形式： CBT (Computer Based Testing)。受験者は試験場に設置されているコンピューター上で問題に答える。



STEP 3 >>> PE試験

専門分野工学の実践を問う試験です。

- PE 試験は、工学分野での実務経験が4年以上必要となります。
- 日本に在住している（日本の年金番号、又はSSN/米国の社会保障番号を持っている）ことが条件となります。

STEP 4 >>> PE試験合格後の米国への登録について

- PE 試験合格者は、米国のいずれかの州に登録して初めて「PE」を名乗ることができます。
- 実務経験内容等を評価するため、州により異なりますが、通常5人の推薦状が必要です。
- 登録申請手続きは、合格者自らが希望する州の審査委員会に行うことになります。
- JPEC ホームページでは、登録の基本条件、体験談その他の有用な情報を提供しています。

晴れてPEとなったエンジニアはPhDなどと同様、名刺などの名前のあとにPEのタイトルを入れることができます。エンジニア個人個人が登録するPEは、たとえ会社の業務であってもあくまでも個人としての責任のもとに業務を行うのであり（それゆえ万が一の場合に備え設計保険に入る人が多いようです）、また特



権業務である故PE個人の強い倫理感が必要とされます。試験科目の中に、技術者倫理(Engineers Ethics)が含まれているのもそのためです。FE試験、PE試験とも、米国が国の威信をかけて多大な労力をかけて実施しているものであり、その内容と厳格さは世界でも高く評価されています。日本で実施される試験も、米国本土で実施されるものと全く同じ英語によるものです。



内閣府認証 特定非営利活動法人

日本 PE・FE 試験協議会 (JPEC)

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-17 石原ビル2F

The Japan PE/FE Examiners Council

Ishihara Building 2F, 2-10-17 Akasaka Minato-ku Tokyo, 107-0052

PHONE: 03-3583-8781 FAX:03-6423-2040

URL: <http://www.jpec2002.org> E-mail: info@jpec2002.org

日本PE・FE試験協議会 (JPEC) は、日本の技術者の国際化支援というミッションのもと、米国の全米試験協議会 (NCEES) のエンジニア試験である FE 試験および PE 試験を日本で実施するサポート、および啓蒙普及に努めています。